

20年度内 5000人を超える不登校児童生徒

ママン パワー 増強を要望

立席で自席の議長に質問する今井勝
県議

今井県議 不登校の小・中学生の現状は憂うべきものがあり、文部科学省の統計によると、平成二十年度は全国で十二万六千人を超えています。不登校を改善するためには学校を支援する人的パワーを増やすこと

も大切。小学校への派遣を含め、スクールカウンセラーの増員や勤務時間など、配置体制の充実に努めるべきと思うが。

教育長 現在、すべての中学校と県立高校六十七校にスクールカウンセラーを配置しています。小学校に対しては、中学校に配置したスクールカウンセラーが支援にあたることで、子どもの抱える課題を早期に発見し、適切に対応できるように努めています。



県、カウンセラー充実を約束

今後とも、学校の実情に応じた人材を適切に配置するとともに、教育事務所のスーパーバイザーなどを積極的に活用して、県内のスクールカウンセラーの配置体制の充実に努めてまいります。

今井県議 学校で不登校児童・生徒への個別相談などにあたる不登校加配教員

はなくてはならない存在になっていく。その加配教員による支援の充実も含めて、今後、どのように不登校対策に取り組んでいくのか。教育長 本県における平成二十年度の不登校児童生徒数は、いまだに五千人を超えており、依然として憂慮すべき状況です。その対策として、研究校に不登校

支援教室を設置し、加配教員が中心となって教室復帰に取り組んでいます。また、子どもと親のサポートセンターの電話や面接による相談を行なうとともに、教員が不登校児童生徒に対してきめ細かな対応ができるようにカウンセリング研修などを実施してまいります。

貴重種など52種の植物確認

今井県議 手賀沼の水質浄化及び生物多様性の確保を目的とした植生帯整備が進められてきた。平成十九年から行なわれてきた高野山新田地区の事業などを含めた評価はどうか、また、今後の展望はどうか。

県土整備部長 平成二十年度に行ないました植生帯調査の結果では、千葉県レッドデータブック植物編で要保護生物に指定されているヒメアオガヤツリをはじめとして、五十二種類の植物の生息が確認されました。現時点では植物が密生し、繁茂するというところまでは至っていませんが、調査により、貴重種を含む多くの植物の生息が確認されているところから、植生帯整備には、一定の効果が発現されているものと考えます。

手賀沼の植生帯整備 手賀沼の水質浄化及び生物多様性の確保を目的とした植生帯整備が進められてきた。平成十九年から行なわれてきた高野山新田地区の事業などを含めた評価はどうか、また、今後の展望はどうか。



ハウス団地を視察する今井県議

今井県議 中小企業の知的財産権やデザインに関する支援を行っていくことは、中小企業の振興に大いに意義のあることだと思ふ。これについて県はどのように考えているのか。

知事 新しい技術やアイデアに基づき新製品を開発し、それらを他の製品と差別化していくことは、中小企業の競争力の強化に欠かすことができません。その際、開発された製品や技術を、特許などの知的財産権として適切に保護・活用していくことは、類似品を排除し、自社に有利な事業展開を可能にする手段として非常に有効です。また、デザイン力の強化については「ちば・戦略的デザイン活用塾」を開催するなどしています。今後も、企業ニーズを把握しながら、知的財産権やデザインに関する支援を進め、県内中小企業の成長力を高めていきたいと考えています。

要望 ○特別支援教育支援員、特別支援アドバイザーの人数の確保をしっかりとやっていただきたい。○効率的なスクールカウンセラーの配置をお願いしたい。

我孫子市特集 12月県議会・一般質問
命を大切に
教育環境づくり

今井まさるの県議